京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

寄稿

鯨屋伊右門 鯨の鯨談 (三)

▲鯨の精液と陰部の利用 捕鯨書籍に曰く鯨鯢交合すれば其精夥しく海面に浮ぶことあり、其精は美にして白く其香小麥粉を煮るが如し、其質膠、漆又は脂蠟の如し、時日を經るを久しければ黄色となり、香は化して臭となり、蟲數多其中に生ず、故に漁人之を取るに其未だ黄色に變せざるに乘じて桶を以て之を汲み白龍涎香を製す、其製法は水を以て鯨精を洗ひ能く煮て上面の垢及粘滑の汚物を掬ひ去りて、之を冷し桶に移し攪動して手を止めず煉て之を製造す。又別法は石灰を木綿袋に盛り水を以て漉し、滓を去り石灰水即ちアクを作り、次に鯨精を取り織り毛の袋に入て絞り出して汁を去り、袋中の滓を以て直に石灰水に投じ、一日一夜を經て再び之を毛袋に納れ、絞り出して之を木綿の上に布陳し、日に晒して其色白く自ら香を放つを待つて之を收む。

鯨勢は肛門の前にあり俗に之をタケリと稱す長サ一丈餘、圍三尺、形竹筝の如し、平日は縮で腹内に在て見へず脊美鯨の勢は色黒く座頭鯨のは色白し雄袋様のものありて之を包藏す、漁人割て之を晒乾し、以て之を貯ふ、能く婦人帶下一切の冷濕及痢病を治す、其効腦臍に代り用ゆ。

陰戸の臍の後にあり俗にフケリと稱す西肥人之を開と云ふ、陰戸の挺俗に瀬免と云ふ、紀人之を比奈と稱す、狀婦人の前陰と異なることなし、予嘗て全鯨の勢を煮て之を食ふに味苦味ありて口に可ならず。

鯨臍は鯨の腹後陰前に在り漁人割取つて之を乾かし或は鹽藏して之を貯ふ、之を食すれば蛔虫痛を治す但し兒鯨の臍は味噌を以て煮て食すれば味佳なりその餘は口に可ならず云々。

(二)鯨の姙娠と分娩と哺乳 姙娠の期間とか受胎又は分娩の時期とかは正確には分らぬが抹香鯨が十月、脊美、長須の如き大きい種類は十二ヶ月位の歳である、牝が兒を產む頃に爲ると、牡が出產して安全な入江を檢分して廻つて夫から其場所に行つて、分娩すると云ふ事である。

偖子鯨が産れると、生れた儘で長が大概五尺許もあつて、未だ口の中には鬚も齒も生へてゐない、直ぐに母鯨の乳房に寄添ふて乳を探す、母鯨は乳を飲ませる爲には、體を横にして、乳頭が海面の上に出る樣、體の後の方を心持ち揚げて遣る、兒鯨が乳を飲むには直ぐに乳頭を啣へる事が出來ないので何度も何度も乳房の處に寄添ふ處など實に無邪氣なものである。

比布兩島の防備

米國の太平洋面の防備は着々進捗し比律賓派遣の要塞砲兵の如き來る十月迄には第十一、十八、四十二及び百三十八の各中隊を就役せしめて通計八個中隊となし尚現擴張計畫に屬する殘りの二個中隊も之に要する兵營の建築さるゝを待て派遣せらるべく又布哇の海防工事もフォートデ、ルッシー砲臺砲床は竣工を告げ眞珠灣口にも既に數門の最新式巨砲を据付他の重要なる工事も年末迄には竣工すと

慘膽たる北韓羅南

近頃北韓より歸來せし某は語つて曰く羅南の邦人は全く兵營工事を宛込みの姿なりしが其兵營工事も其筋にては年度内經費の都合にて事業を進捗しつゝありたる爲め其經費豫算の都合にて工事の進捗を見合す事もあり幵れが爲め大工其他の職工の雜踏一方ならず其筋に於ては通常三圓の工賃を半額にてなれば來年度豫算中より臨時流用すべしとのことに幵れにても繼續して仕事の有る方望ましと其儘從事し居たるも何分工賃の半額となりて辛抱出來ずと逃出だすもの多く且つ折角相當の給料の支拂なき爲に得る時期に至りし頃には職人の不足を生じ工事に捗らず爲めに昨年十月中に全部竣工すべき筈を昨今漸く兵舍の工事のみを終へて衛戍病院の如きは未着手の儘なり▲而して今の咸興より移るべき聯隊の將校下士のみを兵舍の一部に移し其殘部を病院に充て居れるが何分同地は野菜に乏しく水質極めて惡しくして普通の井水には肉眼にて見るも三四分ばかりなる、木綿系の如き無數の黴菌棲息し居りて一度之を顯微鏡に照らすに於ては此木綿系の如きは毛虫の形して一面に泳ぎつゝあるを見ては何人も驚かざる者無き程にて軍隊にては牛車にて遠くより飲料を求めつゝありて市中の水一荷の賣價は十錢に値しつゝあり▲左れば軍隊に於ても充分衛生上其の注意を怠らざるも腸●窒●扶●斯●胃●潰●瘍●他の腸胃病に罹れるもの多く患者は續々此假設病院に收容されて平均隔日一人宛位に病院より死者を舁ぎ出だす抔現狀頗る慘憺たるものあり云々

●時局と沿海州韓人

在沿海州の一部排日韓人李範允等の一派が大擧して北韓を襲ふべしとの謀略着々實現されつゝありとの外電に對して外務省の岡部書記官は語るらく元來此種報道は屢々吾人の耳にする所にして嘗て近くは間島方面に襲來すべしとの說ありて本邦及び淸國側にても警戒を加へたる程なりしも今次の報道に就ては未だ何等の公報に接せざれば之れを知るに由なきも多分は左したる大規模の活動と云ふが如きものにはあらざるべし往日伊藤公爵が哈爾賓に於ける兇變以來沿海州方面の露國官憲は一層日本に向つて好意的態度を以て諸般の事に當り在沿海州の排日派韓人に就ても相當の注意を拂はれつゝあらんも外人取締は何人にも至難の事に屬すれば絶對的に未然に防ぐは不可能なり兎に角彼等が何等かの活動を爲さんとする事實ありとするも日韓合邦と何等の關係を有し居るが如き事は万なかるべく彼等は前述の如く常に機を見て北韓に侵入せんとし居れるものなれば只時機が時局と期せずして符合したるまでにて日韓合邦現出すべしと云ふに因りてのみ發生せるものにはあらざるべし云々

●海事々務の協議會

關稅局にて來る二十日より向ふ一週間海事々務協議會開催の筈なるが參列者は各關稅の技術官及び主事等にして其の事項左の如し

一 諮問事項 船舶登錄及檢查の狀況登錄及檢查に關する法規の適用如何理事廳に於ける海事々務の處理狀況
二 調查事項 管內に於ける登錄及檢查を受くべき船舶の概數其他
三 協議事項 帆船の簡易測度方法平水航路區域其他
四 注意事項 船舶檢査の技術及事務に關する取扱方法其他

●龍岩浦の近況

九日發龍岩浦通信に依れば鴨綠江口附近に於ては巡邏船の警戒嚴重なる爲め昨今は淸國の密漁船著しく減少したり東拓會社にては圓島、大和島に水產出張所を設けて漁業を經營し目下同沿岸には日本漁船漸次增加して三百餘隻に達し漁業は盛況なるも何故か會社側と漁船との間に紛擾絶へず想ふに會社の漁業經營が宜しきを得ざる爲めなるべく今日の如く紛擾を重ぬるは惜みても餘りあり清國の假裝巡洋艦が圓島沖に來泊したりとは全然無根なり去る二十九日木浦より警備船二隻當地に來り乗組員の談に依れば淸國軍艦に關しては航海中特に注意したるも遂に之を認めざりしと也

日本銘刀傳

第百卅八席 邑井一講演

津田近江之守 (四二)

そ「さう云ふわけなら妾も思切ります代りに妹のたようを思切らして下さいまし 直「夫れは無論の事……「此のれ金は戴くわけには參りません 直「其樣事言はないで取つて置いて下さいと、無理に受納めさせ、翌日になつて助直は京都から引戻されたようを佯ひ夫の三藏に兩手を突いて謝罪する三藏は烈火の如く憤りましたが、助直が段々と詫入りまするので漸く金子二百兩を以て詫をした、此事件を詳しく申上げて居りまするとまた十數回ありまして餘り長くなりますから極く略して申上げて置きます、さて助直の盡力にて助廣の女狂ひ一條は是れにて落着致しましたが、助直は兼ねてより日本全國漫遊の志があつたので父の許を受けて愈々漫遊に出掛けました、是れを悉く辨じますと長くなりますから極く面白い所だけを三四回辨じまして、夫れにて當講談の終りと致します、さて助直は「夫れではれ父さん往つて參ります」と云ふと助廣は立つて表まで送つて來ます、師弟父子の情愛斯くありたきことでございます 助「それでは父上樣、貴所も御壯健で在下さるやう 廣「其方も、初めての旅ゆゑ心付けてな 助「恐れ入りましてございますそれでは父上樣、御機嫌宜しく」と跡振返り〳〵、名殘り惜げに師弟此處に別れを告げ、助直は其儘助廣の屋敷を立出でまする、助廣は暫らく後ろ影を見送つて居りましたが、其の儘自分の部屋へ這入つて寢て仕舞ひました、助直は大阪の地を後に致し、是より都に上つて諸神社諸佛を祈り、何心を靜かに治めまして、良き刀を鍛ね上げ、益々名を揚げたいと、足を早めて參りまする折りしも中仙道へ掛りましたが、何しろ初旅のことであるから、少し行つては道を聞き、名所舊跡のある處は殘る方なく見物致し、追々參ると岩山ばかりの處で、道が頗る難儀でございます、どうした機みか石に躓きました時に、急に差込みが來て胸を押へ、齒を咬しばつて耐へて居りましたが、餘程の苦しみ、懷中に藥があるかと探つて見ると、生憎藥は絶してしまつて、向ふにある淸水を飲まうと思つても、其處まで參ることも出來ず、如何はせんと躊躇ふ折りしも、村人と見ねまして三四人鋤鍬を持つて其處を通りかゝり ○「其處に居るのは旅人おやアねへかね確かりさッせヱ、急病でも起つたのか幸ひ斯ふ云ふ時に宜かんべエと思つて熊膽を持つて居た、サア之を呑まつせい」と取出して親切にも口の中へ入れて與れる、一人は手拭を淸水に浸して其の水を口へ入れて與れる、一人は後ろへ廻つて頻りに脊中を撫て與れまする、世の諺にも申しまする通り一に看病二に藥、何でも看病と云ふことが專一でございます、通り掛りの百姓が親切に世話をして與れたので、急病と云ふものは一時強く來まするが、癒り方は早いもので、助直はホッと一息吐きまして、有難うございます、お陰樣でございます…… ○「イヤ旅のお方もう、癒んなすつたか、それは結構なことだ、此處は御獄の山中だ 助「それでは此處が仲仙道名代の御獄山でございますか △「お前は一躰何處の人だい 助「私は大坂から參りました者で、△「アゝさうかい、江戸へでも行かつしやるのか 助「左樣でございます、少し心願がございまして江戸へ下る途すがら、差込が起つて思はず御厄介に相成りまして ○「何しろ旅馴れねものが斯う云ふ山中を通るのは些なか〳〵難儀なもい、土地の者でさひ三度に一度は隨分足を痛めることがある、御地頭樣へ願つてもう少し道巾を廣げて貰はうと思つて居る位ゐ、何しろもう燈火の點き際だし、是から先へ行くといふのも難儀だらふから、穢ねへ處で構はなければ餘まり寒くない時分のことだから、私が處へ來て泊らしつたらどうだ「それは誠に御親切に有難うございます、左樣ならどうか御厄介になりませう ○「それおやア來さつせヱ」と先へ立つたのは此の中の頭立つた者と見へて、老人が親切に案内さして與れまする助直は後に付いて參りましたが、成程渡る世間に人鬼はないと云ふが、誠に有難いものだ、道中で淋しいものは夕方山中で入相の鐘の音を聞くことゝ長旅の錢無しなぞは誠に心細いもので ○「サア客人此處が私の家だ、其所の流れで足を洗つて上らつせね 助「有難うございます」と助直は足を洗つて上へ上り 助「此方樣は石切でもなさいますか ○「ア、俺が家は石切で太惣次と云ふ者、此の村數は深山ちねわが五村ばかりに分れて居て、百三四十軒許りの家數だ 助「さうでございますか、誠に村方は靜かでせう ○「アゝ此の御獄は餘り他所と交際をする者がね其の代り旨へ物を食べやうと思つても遠くへ行かなければ買うことも出來ねへ、だから日待の時や何かは若衆を頼んで宿へ行つて買つて來るだ」其處へ太惣次の女房のたはつと云うのが出て參りまして助直に挨拶を致す

東京電報

◎地方農工資金　農商務省にては本年度勸業銀行より融通すべき地方農工資金三百萬圓は適當に地方長官に配當し其の銓衡により耕地整理產業組合等に融通せしむる等に就き嚴正なる調査をなし有利適當なる事業に充てしむる方針なり(十三日)

◎議員招待辭退　佛國議會の我議員招待の件につき本日所屬協議會を開きたるが遂に辭退に決す

◎韓太子行啓期　韓國皇太子には愈七月十三日東京出發中國山陰道に御見學遊さるゝ事に決定す

◎共進會と取締　近來共進會展覽會等到る所に開設せられ產業發展上賀すべき現象なれど詳細に內幕を吟味すれば弊害多く產業の發達に留意すべき裝飾羅列販賣式に止り根本的生產業に改良すべき點あるに依り當局は此點に注意し甚しき動機と見るべき陳列場の物品即賣の如き禁止するに至るべし(同上)

◎三十八年步兵銃　東京砲兵工廠にて製造せる三十八年式步兵銃並に騎兵銃は再三技術審査部にて試射を行ひ精緻なることを認め愈々來春より近衛及第師團に第一着手として配付を開始する筈なり(同上)

◎大窪中將の銅像　大窪中將銅像除幕式は本日午前十時三十分小石川砲兵工廠に於て擧行せられ大窪中將の令孫菊枝子の手によりて幕を撤せられ遺族大窪千里の挨拶あり參列者百餘名頗る盛會なりき(同上)

◎衞生行政功勞旌表　既報の如く行政衞生功勞者旌表は目下內務省に於て調査中なるが啻に個人に止まらず府縣警察部に功勞ある者をも旌表する筈なり(同上)

◎賣藥稅免除問題　目下免稅の賣藥中賣藥同樣一定の印紙を貼用せしめ賣藥稅を賦課せしむるの議論あり賣否の論盛んにして當業者間には免稅の運動激烈なるが賣藥稅の免除の區別は曖昧にして主務者と雖も之を說明する能はざる故に結局之を廢し總て免稅すべしとの說あり議會の大問題となるべし(同上)

◎治水費問題豫算　東京代議士三十餘名治水費問題に付き昨日會合を開き來年度豫算に五百萬圓の費目を計上せしむる決議をなしたり(同)

◎豫算編成內容　目下各省に於て四十四年度豫算編成に付專ら調査中なるが同年度は近年の懸案たる海軍擴張及日韓○○問題等の大事件あれば之れ等の財源に就て若し各省より要求せんとする新事業は殆んど全部拒絶さるべし(十四日)

◎黃起赦免運動　攝政王に爆彈を裝置せる清國革命黨領袖黃起は死刑に處せられ奉天監獄にあり在東京の同黨は此が赦免運動方法を研究中なり

◎衆議院黨派別　衆議院に於ける現在議院黨派別は政友會二百四人▲國民黨九十二人▲中央俱樂部五十八人▲又新會十八人▲無所屬十六人(同上)

◎日糖當期決算　大日本製糖會社當期收支決算案重役會議に於て決定し來る十八日の總會に附議す資本金二百五十萬圓資產整理損失金五十八萬圓預金勘定損失金七十二萬圓合計總缺損金三百八十萬圓當期純益金九十三萬圓法定積立金百二十萬圓合計三百十三萬圓差引後期繰越損失金六十七萬圓なりと(同上)

◎鐵道建設財源　來年度鐵道建設豫算は目下調査中にて既定年割に止むるか又は追加計畫を爲すべきか未定なるが其の何れを問はず之れが財源は先づ一千萬圓に過ぎざれば社債資金より融通する事に決定せり(同上)

地方電報

◎清國公使任期　新任駐日清國公使汪大燮氏は本月末北京を發し東三省巡視の後來る七月二十五日までに赴任すべし(同上)

◎下院議長の西下　長谷場下院議長は來る二十二日新橋發高知政友會支部大會に臨み四國鐵道視察を爲し三十日頃歸京すべし(同上)

◎副統監に請願　當地每日新聞社主催にて新任山縣副統監を歡迎し緊急なる請願をなし元山來遊を勸め且つ釜山當地間を視察する筈にて一行は來る十八日出發の豫定なり一行は何れも當地一流の紳士にて民長、民會議長、商業會議所會頭等なり(十四日元山發)

雜報

◎總務長官の候補　(娘一人に婿八人)　統監交迭に伴ひ大官異動說は當然來るべき運命にして何人も首肯する處なるが其候補者の餘りに多數なるには聊か呆然たらざるを得ず今試みに東電の拉し來る候補者を擧ぐるに總務長官としては[illegible]小路曰く床次曰く南曰く石原曰く有吉又參與官には曰く久保田曰く香川曰く坂曰く小野田其數屈指に遑まあらず而かも孰れも忽ち出でゝ忽ち消え去る狀宛然走馬燈的喜劇を觀るが如くなるも可笑し而して如上候補者中實際其筋より交涉を受けたるものもあるべけれども其多くは噂の候補者にして現に陸軍省の門を出入し或は又上京を命ぜられしとて直に浮名を立てらるゝ尠からざるを見ても明かなり唯だ此際比較的眞實らしく迎へらるゝは有吉現任千葉郡知事なるが氏は二十八年赤門出身にして僅かに正五位勳五等高等官二等俸三級の新參知事に過ぎず如何に小山縣と官僚的因緣を有し其材能拔群なりと雖も石塚正四位勳二等と交換するが如きは餘りに酷なる處置にして閱歷階級を重んずる官界の敢へてせざる所なるべし故に氏の來任あるとするも統監官房の官制改正を行ひ其官房長として手腕を振はしむる位が精々なるべしと某消息通は語れり

◎東拓漁業條件制限　東拓會社が平安道の沿岸に於て漁業權を得たるに就ては去る五月廿日付にて農商工部より公式に之れが認可を得たるが其條件と制限は左の如し

一、慣行又は免許に因る他人の漁業を妨ぐべからず
二、事實事業を經營せざる間は其部分に於て他人の入漁を拒むべからず但農商工部の承認を經て入漁を制限禁止する事を得
三、漁業の經營方法、移民の移住計畫漁民に對する權利義務の關係及漁獲物の處理方法其他漁業に關する重要なる事項は豫め農商工部の承認を受くべし

◎群馬共進會韓國館　群馬縣主催聯合共進會に於ける韓國館は其面積名古屋と等しく約三十坪を充用する事となり出品物は既報の如く福岡名古屋兩共進會より廻送する筈にて既に福岡よりは送付を了し尙名古屋の分は本日より送付に着手せる筈なり然れども同會は九月の開會なれば昨今の梅雨又は暑氣等の關係上多少物品に影響を受け其價値を損すべきを以て農商工部にては一々調査の上追送補塡の準備を爲すべしと云ふ

◎兇漢李在明に同情　西北學會評議會にして兎角の評ある吳相奎は李在明の兇行に同情を表し彼は安重根と共に身を殺して國に殉せる一世の志士なりとて臆面もなく之を賞揚し居るが彼れの拘禁後其遺族の末路悲慘なるべきを思ひ之を救濟するは志士を待つの禮なりと唱ね普成學校の學徒を說き大に義捐金を醵出せしめんと頻りに狂奔しつゝありと

◎家庭と學校の連絡　兒童教育は家庭及び學校の連絡によるべき固より言ふは容易なるが如くにして事實は却々の難事にして教育家は固より一般に於て頗る遺憾とせし處なるが龍山岡井泉氏は大に玆に見る所あり家庭と學校と題する機關雜誌を發刊し以て育英に盡す處あるべしと

◎暴徒被害邦人賜金　四十年八月の政變以來各所に蜂起せる暴徒の爲め邦人の被れる被害に關しては其の筋に於て調査中なりしが今回暴徒に殺害されたるもの及び住宅を燒かれたる日本人百三十八名に對し韓政府より千三百四十八圓を下賜されたり

◎參與官會議の例會　十四日午前十時より統監府總務長官室に於て參與官會議例會を開き十二時散會したるが出席者は石塚長官の外倉富、楊井、鈴木、小宮、國分、菊池の諸氏也き

社告

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は玆に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日　來る六月廿五日

▲記事の內容　韓半島に關する名士の議論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

◎趙南升事件の決定　玉璽僞造に關する趙南升の事件は愈々起訴することに決定したるが若林總監に稟議を要するものあり同氏の歸任を待つて檢事局に送る筈なり

◎土地調查事務打合　土地調查局にては十四日各事務官及び技師を內部地方局に差遣し土地調查に關する諸般の打合を爲したりと

◎大臣會議例會開催　十四日午後一時より統監府會計課樓上大食堂に於て大臣會議例會を開會せり

◎新韓國報發賣禁止　新韓國報第九十六號は治安妨害の廉に依り發賣頒布を禁止されたりと

▲朴泳孝の辨明　朴泳孝の行動に就ては種々の風說あり之に付同人は某官憲に對して辯明して曰く頃日予の行動に就き種々の風說を爲し甚しきは不日入京政海に投せんとするが如き新聞記事あるも予は斯る意なく前に大邱地方を旅行せんとの意ありしも世間の疑惑を慮り之れを中止したり何を好んで入京するが如き事あらんや只土地肥沃にして田園生計に適する地あらば他に轉ずるやも計られざるも當分は當地を動くの意なし予の行動に關し流說を爲すは或る政敵の苦肉の計なり乞ふ予の行動を疑ふ事なかれ云々

◎同仁醫院の成績　同仁醫院の大邱平壤兩韓國分院は開設以來韓人の渴仰一方ならず來診患者數は月に日に增大さるゝが一月以降四月末日迄の治療患者は大邱同仁醫院に於て千四百十七人大邱は同千五十七人の盛況なりと

◎拓殖手引の編纂　東拓會社にては殖民地としての韓國を汎く知悉せしむる爲め各種の材料を集め一冊子を編纂すべく目下其の調査中なり成版の上は內地各府縣等に配付する筈なりと云ふ

◎五月中の屠獸數　客月中に於ける京城東大門及西大門兩所の屠獸數は合計千三百頭にして內東大門四百八頭西大門八百九十二頭なり尙は此の外日本人と支那人の屠獸數約五十頭位ある由

◎庵原課長の出張　庵原農商工部漁政水產課長は水產業視察の爲め元山、淸津、城津の各理事廳管內に向け出張を命ぜられ不日出發する筈なりと

◎仁川民會の開會　仁川居留民會は愈々今明日中開會の上仁川病院引繼に關する件及學校問題に就き凝議する筈

◎翰長不在中代辨　法制局長兪吉濬は內閣書記官長不在中代辨を命ぜらる

◎特別功勞賞與金　內部所管臨時部特別功勞賞與金一萬圓支出の件裁可

◎叙任辭令　左の辭令ありたり

林業事務所技師　岡　衛治
解京城林業事務所長　同
命京城林業事務所長　上近野　英吉

◎馬山電燈の認可　日韓瓦斯電氣株式會社より曩に出願せる馬山電燈設立の件は十四日認可せられたり條件の概要は左の如し

一、特許期限は五十箇年とす
一、着手期限及竣功豫定期は一箇月以內に屆出つ可し
一、當該官廳の認可を得へ陸軍用地及鐵道用地を使用する事を得

而して同社の之に投ずる資本金は十萬圓にして供給燈數は十六燭光に換算して一千燈の見込なり尙は此計算により年八步の利益を得べしと云ふ

◎仁川の漁獵と相場　仁川近海に於ては今や鯛漁期に入り市場には鯛の山を築くの盛況にて市民は上下流を通じ其の新鮮なる味に飽くの有樣なるが今仁川水產會社に就て之れが漁況を聞くに於青島より仁川に向ひ六七里を隔る鹿島及び狐島附近に於ては先月十日前後より鯛漁期に移り日本漁船百六十隻余は此方面に集中して盛に釣漁及び延繩漁業に從事しつゝあるが先月中の漁獲高は二万九千二百二十三圓の巨額に達したり今之れを昨年の同月に比較するに二萬九千七百十一圓にして僅かに四百八十八圓を減じたるのみに過ぎず而も本月に入りては少なくも一日の漁獲高千百圓內外に達し其十分の二は仁川に於て消費され殘は京龍間及び平壤方面に輸送せられ居れり相場は數日前迄十貫目に付八九圓見當にて附込一尾廿二三錢位なりしが一昨日來風雨の爲め値段は俄かに騰貴し昨日は一尾三十四五錢を唱ふるに至れり

◎永見副頭取の招宴　永見十八副頭取は十二日夜統監府及韓國側の大官七十餘名を花月に招待し盛宴を張りたり亦十三日夜は日韓各銀行會社新聞記者通信員等八十餘名を擁翠樓に招待し同じく盛宴を開きたるが當夜出席の重なる人々は宇佐川、市原兩總裁、木村、岩佐兩理事、岡崎瓦斯專務、菅原百三十總支配人其他にして始めに永見氏より丁重なる挨拶あり次に市原總裁來賓を代表して一場の謝辭を述べ續て岩本氏の座興演說其他種々の余興ありたる後獻酬雜語に時を移し散會したるは十時半なりし

◎東拓と府縣篤農團　東拓會社が各府縣より篤農家を招致し韓國農業の一班を視察せしむべく農商務省及內務省へ照會し人撰中なるは既報の如くなるが右は將來移民計畫の場合に於ける準備視察の爲めにして兩省にても熱心其擧を賛し勸誘を努めつゝあれば近々決定を見るに到るべしと而して其渡韓費用は一切同社にて辨じ視察の範圍は必ずしも沿線等に局限せず深く內地を跋涉せしめて地質農產物等の實狀を目擊せしむる筈なり

◎韓國貿易事情調査　關稅局に於ては過般來韓國產輸出品の各地より開港場に出廻り更に海外に仕向けられ又輸入品の開港場より深く各需要地に分配せらるゝ系統其他產地消費地並に運貨商取引の順序等詳細の調查を行ひたる所今回一應完了したるに依り不日之を印刷して汎く貿易業者其他海外貿易に從事せんとする者に交付し一般の參考に資する筈なり

◎商工調查方面囑託　農商工部が施行せる韓國商工調查は伊藤事務官主查となり別に元山木浦の商業會議所書記長を奏任囑託として着々進行中なるが調查の緩急順序あれば片寄的に調查を進むる筈にて追ては各商業會議所にも囑託するに到るべく而して差向き釜山に對しては目下詮議中なりと云ふ

◎仁川の水道通水期　仁川水道水源地たる鷺梁津の工事豫定通り着々進捗し同工事囑託川上博士は本月末來韓さるべき筈にて同時に試運轉をなし是に就き仁川は目下鐵管埋設及給水申込等に對し夫々準備中なりと

◎仁川商會議員競爭　仁川商業會議所議員半數改選は來る廿日を以て民團樓上に執行せらるゝ筈なるが余日の切迫と共に所謂朝鮮町側を中心としての競爭暗に激甚を加へんとするの模樣あり玆數日を出でずして競爭表面に現はるゝに至らんと云へり

◎會議所名簿縱覽者　京城商業會議所にては十三日より選擧人名簿の縱覽を許しつゝあるが從來會議所の名簿は閱覽する者殆んどなかりしに今回は縱覽當日より百餘名の閱覽者あり以て今回の選擧が如何に人氣を惹きつゝあるかを知るべきなりと

◎撰擧委任狀の效力　京商議員半數改撰は稀有の競爭劇甚を極め居るが其結果委任狀の濫發となり開票當日の奇觀今より想像せらる而して委任狀の效力は最先提供者が效力を有すと云へば各自熱狂者は注意すべきなりと

◎李學部大臣の消息　西韓巡視中の學部大臣は去る八日義州に着し各學校を巡視し曩きに勅額を賜はりたる朔原學校に於て職員生徒の爲め揮毫を爲し同校生徒一同は紀念として銀製灰落一個を寄贈したりと

◎仁川病院經營引繼　既報の如く仁川民團立病院は本月限りにて民團の手を放れ漢城病院長安藤一郎氏の手にて經營せらるゝ筈なるが後任の尾崎院長は元山病院長に轉任し他の各醫員は夫々歸朝すべしと云ふ

◎永見寬二氏招待會　當地實業家の重なる人々三十余名は目下滯京中なる十八銀行副頭取永見寬二氏を十三日午後一時京城ホテルに招待し歡迎午餐會を開きたり

◎馬山電燈の起工期　日韓瓦斯會社馬山電燈布設認可は既報の如くなるが其起工期は當地發電所の電鐵複線工事過半終了後速かに着手すべく既に機械器の注文を發せりと

◎電鐵複線運轉開期　目下工事中の電鐵複線は全部七月中旬を以て落成の豫定なるが同時に客車運轉を開始さるべしと云ふ

◎侍天教支部の設置　侍天教の朴衡釆なる者は慶州府內田地十斗落餘を買收し同地に侍天教支部を設置すべく目下奔走し居れりと

◎大屋權平氏の出張　大屋韓鐵管理局長は十四日午前九時十分發列車にて平壤に出張せり

▲治外法權▼　警察機關の統一に關し大分異論があるようだが大[illegible]前の小事ドーデも良いではないか、勿論警察とか憲兵とか現在仕事に與つて居る人達は黑人筋として種々の意見もあらうが、被治者たる我々は大も機關の單純となるのを望む▲南滿鐵今期の純益金は前年同期の百三十萬圓に比して三倍以上の四百餘萬圓ソレで創立以來政府持株へは一文の配當もしなかつたが今期は二百五十萬の配當をすることに決したソウだ、他の村鐵職は大に鼻が高からう、併し米人からシチユウ利益壟斷の譏を受けてソウ二百五十萬圓許りの配當デヤまだ間尺に合はぬ▲サア南滿はソレでとして我東拓は一体イツになつたら政府持株に配當するのか、同社今の樣ぢや玆數年はダメの樣だ、思へば嘆息の至りだ▲寺內が來るとて喜んで居る連中があれば亦嚇いて居る連中もある、思ふに寺內とて禍福の神樣ヂやあるまい、正直な者とて特に幸ひもせず又祟りもせまい▲內部の御達しが出た、其中に曰く南大門驛前との街路に沿へる土地家屋の賣買、典當及新築を禁ずと、ツイ先立ても同意味の達しを出した許で亦候同じ樣な達を出す內部は間拔か健忘か▲前年度支部が南大門城壁取除け街路取擴けをやつた時は創から終まで都合良くいつたが今度の內部のブサマと云つたら何だ、惡い事は云はぬ早く自分の非を自覺して民團に賴むが良い。

（三）　第四百三十號　（水曜日）　京城新報　明治四十三年六月十五日　（第三種郵便物認可）

京城の裏面（二）

濡手で粟慾脱裏（六）

本件關係者川合楠本北島多田の四名は去る七日令狀を執行され津城大人は其の蹤跡を失したりと云ふ

本事件に關して學ぶべき所は自己の力量を知らずして徒らに成功收利を急ぐの非なるにあり廣梁灣人夫募集の請負は津城が飯を食ふために一寸拵へた仕事なり甘く行つたら纏つた金を掴まんとしたのだとは餘り詮索に過ぐるも少くとも一二箇月厄介になるにしても遠慮なく食ひ倒せる爲めの方便なりしと見るを至當とせん然るに案外乘り氣になり本氣になられたので彼れは少々薄氣味惡しくなりたり本氣にはなれど慾はかわけど纏つた金は出し相にも出來相にもなし氣味は惡いし愛想は盡きる茲に於て牛を馬と山崎に乘り換へたり若し川合等が思慮ありしならば九州旅館に原田と會見したる後直に眞相を看破し得らる可かりしなり山崎の如きは明法學士の肩書を有すと然かも津城の爲めに飜弄せられたること川合等に劣らざるのみならず遂に夫れに因縁して四人者を刑律に擬せしむるに至る白痴の逆戻りと云ふべし、正しき徑路に因らず、正しく有せる資格に依らずして心配なく巨利を博し得られしは十年以前否少くも三年以前の事なり今日の朝鮮にて之れを計畫すれば必ず一種の心配は伴ふ、或は法律の制裁は免かるゝも嚴正なる局外者の批判は避く可らず、靑年諸君、身分なく地位なき（茲に身分と云ひ地位と云ふは信用と云ふ意味なり）者にして常に此の種の計畫を抱ひて徘徊せる者京城に少なからざれば充分に注意して悔を貽すことなかれ（終）

七百餘圓の拐帯

▽箱根湯本にて取押らる

山梨縣北都留郡柳川村字彥谷源次郎弟梶原俊四郎は（十六）昨年十月中當地古市町米穀馬糧商石田庄次郎方の雇人となりしが本年五月十三日主人の金七百二十六圓餘を百三十銀行へ預け入れよと吩付けられしに俊四郎は不圖惡心を起し其儘拐帶して本國に逃げ歸り廣島大阪京都名古屋邊を遊覽して百三十餘圓を消費し殘り五百八十餘圓を所持して一旦郷里に歸り内三百圓を母せん（五五）に與へ二百八十餘圓を以て箱根湯本の小川屋方に滯在し悠々と遊覽し居たる處を小田原署の手に取押へられ目下取調中なり

韓雇人の横領嫌疑

▽物騷なる京畿道異想？

本月十日の紙上に物騷なる京畿道と題し陸軍米穀並に馬糧御用商人古市町石田庄次郎が雇人朴春根を高陽方面に米買ひに遣したるに高陽邑一里手前に於て暴徒に出會し所持金九十五圓を强奪せられし旨其の筋に屆出たる由は不敢取報導せしが其後其筋に於て嚴重に探偵の結果朴春根が暴徒より强奪せられし如く装ひ横領したる嫌疑にて目下引致して嚴重に取調中なり

小學教員車掌を撲る

▽傍觀内外人の憤慨

韓人指導の責任ある在留邦人が漫りに母國の權威を嵩に着て暴力を以て韓人に莅むの弊あるは我等の常に遺憾とせる所にして左の投書の如き事實は日常各所に於て繰り返へされ居る也、而して我等は此れが我が統韓策の上に及ぼす惡影響の如何に甚大なるかを思ひ眞に慄然たらざるを得ず、今其全文を原文の儘掲載して一面當局官憲の注意を促し、一面居留民の反省を促進す。

記者足下余は常に貴紙を愛讀し貴紙が韓人の啓發は百の法文よりも一の精神的感化にあるを論じ而も其根本義を宗教及教育の上に置かんとせらるゝ主義を推重すると同時に我同胞にして此の理を悟らず非文明的の行動を敢てする者多きを遺憾とするものなり、去る十二日の日曜日漢江に於てボートレースの催あるや京城の子女は狂喜して龍山に繰り電車何れも滿員の姿なりき中に京城小學校の生徒十餘名教員二三に引率せられて此の中にあり賃錢の行違より韓人の車掌に暴行を加へしたゝかに之を毆打したり之れを見たる日本人は勿論某米國宣教師夫人の如きは日本の爲めに之を遺憾とすと嘆息せられたり、記者足下、社會風教の指導たり次代の國民教育の重任を負へる小學教師が而も生徒の面前に於て斯る暴行を敢てし非文明的の行動をなして外國人の笑を招くとは何事ぞ、記者足下、事一些事なりと雖も其の關係の及ぶ所大なるを思へ（龍山の人）

●**不法な飲食店主**　龍山本町三丁目飲食店三福支店方雇人朴興順（三二）は十三日午後五時頃二名の韓人を伴ひ榮町酒小賣商竹下定次郎方に來り酒一升平らげへべレケに成りて代金も支拂はず立去らんとする定次郎の妻リエといふが支拂を請求せしに朴は不法を言ひ募り果ては拳を以てリエの頬を毆りつけて立去りしにぞリエは力及ばず口惜涙に咽び居たる際折好く他行中なりし夫の定次郎が歸宅して一伍一什を聞き直ちに追跡して朴を取押へ自宅に連れ來りて其の不都合を責め且つ酒代の支拂を迫まり居りたるに朴が伴れ居たる韓人は其の雇主の三福に此の事を急報したりと見へ三福の主人三島善三郎及其雇人の雨宮重信兩人は何を勘違へせしものか宙を飛んで駈け付け雇人たる朴が不埒は責めずして反て竹下に喰つてかゝり兩人にて竹下を毆打せしより警察沙汰となりしも結局竹下堪忍の胸をさすり善三郎重信は放還され朴は警察に留め置かる

●**珍説れ化の罐詰**　北部署の發表　尿汲取人夫甲太仁（十九）が十二日午前十時頃北部休府洞八十四統六戸鄭東雨方に尿汲取りの爲め赴きしに便所の側に何物か埋めあるより掘り出し見たるに周り五寸長さ七寸餘の甕三個ありて水を湛へし中に鐵葉製の罐各一個を入れあり其の内一個は上部破れ居たれば何物やらんと取り上げたる途端炎々たる焔を吹き出せしにぞ驚いて中から左捻ぢでも右卷きでも乃至は金山寺味噌の如きに出會しても怖ともせざる太仁なから水の中から火と來たのでウンと叫んで絶息せし騷ぎに其の旨北部署に急報せしに警官出張實取り調べしに右は鄭の息子崔俊相が二三年前化學研究の爲め渡台し歸來埋め置きたる燐の原料と判明せしも崔は既に死亡し居るより現品は北部署に於て處分せしと云ふ息を吹き返したる太仁曰くれ化の罐詰には初めて出逢ひました

●**裁判所と魂比べ**　原籍石川縣羽咋郡福浦村字西野當時木浦各國居留地東海岸通り四丁目西野正二郎妻はや（三三）は本年二月附近の博徒六名がはや宅に於て賭博を爲し警官に檢擧せられはやは賭博場開張被告事件に問せられ他の者は服役せしもはやは第一審第二審共不服として高等法院に上告中にて十三日渡邊高等法院長裁判長となり檢事の立會にて公判開廷あり來る十七日言渡ある筈なるが隨分氣魂强い女と云ふ可し

女振り

今村米店内儀　今村てる子

今村米店は本町一丁目理事廳前にある御主人は伊三郎と仰云る、明治三十五年渡韓したので手堅い白米御小賣商の一である、内儀のおてるさんは明治十八年の御出生で、産地は伊豫の松山で伊三郎君と同郷である、結婚せられたのは三十四年たてるさんが十七の秋であつた相な、爾來足掛け十年になるが子寶がない、伊三郎君は素よりおてるさんも力を協せて奮闘努力するが何う云ふものか氣が此れ斗りは不足である、他に此れと云ふ不足はないが、茲に於て神へも願を掛けた、佛をも頼んだ、併し此の頃の神樣や佛樣は昔しの如くに三七二十一日位の祈願では聽き入れられぬと見へて、滿願の日になつても日輪懷中へ入るとも鶴が屋の棟へ巣を作つたとも夢のお告もないので其の方は斷念した、斷念られぬが諦めた以來と云ふもの犬と猫とを飼つて子のない淋しみを紛らすべく努めて居られる、おてるさんが犬や猫やを可愛がらるゝのは啻に道樂斗りではないので以上の如き堂々たる理由がある、然るに其の犬の方が先月下旬二四子を生んだので目下は夫れの世話で夢中である、と云ふと純然たる家庭の人である樣に思へるが處がナカ〳〵左樣でない、内治外交共にてる子さんの手腕に待つ所が多い、隱れたる而して最も敏活溫和なる夫人の一人。

●**韓人の毆打致死**　京畿道水原郡晴湖面五洞十四統三戸鄭相玉（五五）は本年五月三日午後六時頃同所水車場附近に自己所有の牝牛一頭を繫ぎ置きしに金俊明外一人が牽き行かんとするより爭論の末互に喧嘩し持合せの棒を以て金俊明の頭部其の他を毆打し遂に死に至らしめたる廉にて爾來京城地方裁判所に於て審理中の處十三日懲役七年に處せらる

●**入浴者の遺失金**　大和町二丁目二百五十八番戸佐久間雄治なる者十一日午後七時三十分頃大和町二丁目東湯に入浴に行きたる際金十圓五十錢入りの財布を脱衣場に遺失せしを主人三根甚吉が發見し保管中の處遺失主佐久間なる事判明に付警官立會引渡たりと

●**空瓶買ひに御注意**　京畿道揚州郡望月面笠岩洞當時東部梨峴住崔慶山（十九）はビール瓶サイダー空瓶ありませんか高く買ひますと各所を徘徊中南山町一丁目村上源吉宅不在を窺ひ金三圓五十錢の金品を竊取したる事發覺南部署の手に捕れ檢事局に送られたりと皆さん御用心

●**西大門外に惡疫**　西大門外郵便局官舍入江數平長女ふみ（七つ）二女たま（三つ）は本月三日より發熱し大韓病院醫士の診斷の結果愈々實扶的里亞なる事判明し大韓病院に入院治療中なりと皆さん御用心〳〵

●**年少店員の持逃**　仁川本町四丁目雜貨商安保富藏雇人なる吉田武雄（十八）と云ふは數日前主家の金子五百圓を拐帶して逃走せしかば目下血眼になりて行衛を搜査中なりと

●**仁川雜事**　仁川花町一丁目より敷島遊廓に達する道路は狹隘にて人車の通行困難なれば今般其筋より牛馬車に限り通行を禁止したり

東京大相撲の初日

▽廿四日より五日間
▽明治町三丁目の角

既報の如く東京大相撲常陸山、梅ケ谷の一行は釜山打揚後來る二十三日當地に乘込み廿四日を初日とし晴天五日間明治町三丁目角の空地に於て興行することに決定し年寄伊勢ケ濱は既に其準備として一昨日來京し當地にては天眞樓主人新田、伊藤組主人伊藤兩氏の斡旋にて既に準備に取り掛り、木戸錢は三十錢平場は五十錢棧敷四人詰六圓同割込一圓にして軍人に限り特に半減すと、尚は團體見物は二十人以上一割引（木戸中共）五十人以上二割引百人以上三割引となす筈なれば豫め同事務所たる南山町二丁目天眞樓迄申込まるべしと

漢江水泳場の開設

▽朝鮮日の出社主催

漢江水泳場の開設は京龍に於ける多年の希望なりしが龍山の朝鮮日の出社は愈々是が主催となり來七月十日より漢江便宜の地を卜し設備萬端充分の用意を了し開始する事となりたり

●**瑞龍寺の入佛式**　去る四十一年以來京城龍山を托鉢したる淨財を以て龍山親町の山上に一寺院を建立し猶ほ熱心勤行の功を積みたる曹洞宗の傑僧富士洞然師は本春以來宏壯なる本堂新築中なりしが愈よ落成したるを以て本山より同寺新築本堂に奉置せらるべき大銅鑄の釋迦如來並に文殊普賢の二菩薩を迎へ來る十九日午後一時より壯嚴なる入佛式を執行し參詣者に供物を饗し法話等ある筈なるが尚同寺に安置すべき爲め舊加賀藩主前田侯爵家より送り越れたる位牌も此程到着したりと

●**曹洞宗本山別院**　若草町一丁目同假本山に於ては十六日午後二時觀音講法要を修し布教師仁生鄭仙氏布教管理道圓老師の法話ある筈なる參聽隨意

今日の運勢

六月十五日　舊五月八日　三碧●赤口　辛亥　執△一白　平穩の日　命名入學門披露旅行に吉△二黑　不自由の事多し新事及旅行見合せの事尚建築に忌む△三碧　些少の驚駭ある日なり新事及旅行婚姻共同組合の事見合すべし△四綠　利得ある日なり共同協合婚姻の事談に適す火の元用意の事△五黃　盜害遺失の恐れあり建築動土轉移に吉△六白　守成の日新事及改易の事見合すべし尚旅行轉住凶△七赤　誘奬提求の事避くべし農礦業は會心の日なり△八白　諸事手控への事金談取引貸借談議纏り難し△九紫　盛運の日なり大抵吉但し不和葛藤起り易し（本町五丁目三一館判）

當籤番號廣告

等	番號
一等	一三八八
二等	五〇三五
三等	九七九九
四等	七七九八
五等	六五〇六

等	番號
六等	五八九
九等	四三三三
十二等	八〇〇八
十五等	一〇〇六七
十八等	六八三五
廿一等	三四四二
廿四等	九八〇六
廿七等	三六一七
卅等	一〇四三三
卅三等	一一五
卅六等	一一〇四四
卅九等	二〇八
四十二等	四九三六
四十五等	一六一五
四十八等	一〇四二五
五十一等	八七九八
五十四等	八七八七
五十七等	七〇五三
六十等	二二八
六十三等	九八一〇
六十六等	五一一六
六十九等	九四八四
七十二等	一〇四五二
七十五等	一九二
七十八等	一〇七〇四
八十一等	六六七二
八十四等	八二〇八
八十七等	五五七〇
九十等	五六三〇
九十三等	一六八四
九十六等	七一六八
九十九等	一〇二八六
壹百等	二九五〇

等	番號
七等	九二四三
十等	三三九九
十三等	九三三二
十六等	二一七七
十九等	八二五四
廿二等	七九八四
廿五等	四五四六
廿八等	二七五
卅一等	八一一九
卅四等	八五〇九
卅七等	一九〇二
四十等	四一九九
四十三等	六五七八
四十六等	一九四六
四十九等	三二〇六
五十二等	九七九八
五十五等	一一〇七五
五十八等	三七五二
六十一等	九九三九
六十四等	三七三三
六十七等	七七二〇
七十等	二五九七
七十三等	二八二五
七十六等	九六八〇
七十九等	一六二九
八十二等	九六七九
八十五等	七六三一
八十八等	七七五九
九十一等	六一〇三
九十四等	八九三九
九十七等	一〇五四〇
自百一等至貳百等	六五基番以上百十番飛

等	番號
八等	五五五一
十一等	九五三一
十四等	二〇七七
十七等	八〇九四
二十等	九九六二
廿三等	一六〇七
廿六等	九一四
廿九等	四四八一
卅二等	四三九八
卅五等	九〇三三
卅八等	七八九
四十一等	四八八二
四十四等	九五七〇
四十七等	九六九八
五十等	二九九二
五十三等	七五四四
五十六等	四二七二
五十九等	八一五三
六十二等	二八〇八
六十五等	一〇八七八
六十八等	一七〇三
七十一等	五二四六
七十四等	二二五〇
七十七等	五四五四
八十等	九五一六
八十三等	七三一一
八十六等	四三九一
八十九等	五〇〇三
九十二等	三五七三
九十五等	九八〇一
九十八等	五五六七

右昨十二日日本人商業會議所に於て抽籤の結果當籤候に付此段廣告候也

和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四十五番 振替貯金口座韓國二五六番